



千枚田を守り抜いた 偉大な先人たちへの鎮魂の灯火^{ともしび}
お田植え感謝の夕べ
～みんなで灯そう千枚田～

開催日時 平成28年6月4日(土) 午後7時から
 主催 鞍掛山麓千枚田保存会
 共催 連谷公民館始め各種団体
 協力 愛知県ふるさと指導員

「灯そう千枚田」の行事継承について

平成17年全国棚田サミット開催にあたり「我々の力でサミットを成功させよう」と意気込み「サミットお助け隊」を結成、見事にサミットを成功させた。その、余韻を地域活性に「連谷お助け隊」と改称、地域環境整備(市・県道沿線)、連谷小学校行事の協力、保存会活動支援等々、他の地区の模範となる働きを継続してきた。

地域の力として活躍してきた「連谷お助け隊」も10年を節目に幕を閉じた。地域の核であった小学校も廃校になり、淋しさを払拭するためにも「みんなで灯そう千枚田」は保存会、公民館共々地域全体の拠り所として継承する所存です。



第二回奥三河パワートレイル

四月二十四日、茶臼山を起点とした参加選手九百十一人は湯谷温泉をゴールに七十kmの山岳コースを走破する国内有数な過酷なレースが展開された。

四谷の千枚田「ふれあい広場」は

第二関門エイドステーションに指定され、八百八人の到着が予想された。

当日は保存会が母体となり公民館、地域住民が一体となり、湧き水天日干しの棚田米「みねあさひ」のおにぎり千三百個と田畑を荒らし過疎集落に拍車をかける憎き猪の「シシ汁」を大はそり五釜用意し、走者、迎える家族、応援スタッフ全員に精一杯の「おもてなし」をした。おにぎりもシシ汁もみな食べてくれたし、特別メニューの「鳥長」の皮胆が大人気で来年は皮胆の焼き肉だけでいい・・・なんて冗談が飛びほどの人気だった。

過酷なコースで昨年は三割だけだったが、今年は六割も完走したそうなの。そりゃあ、そうだよのん。湧水、天日干しの棚田米の「おにぎりやシシ汁」を喜び、挙句に胸ポケットにおにぎりをへし込み、棚山で「うすい味噌汁と梅干」で美味いうまいと力をつけて走りゃア、完走できる訳だわいのん。

四月五日、(株)横浜・ゴム新城工場の新入・幹部研修時にパワートレイルへの協力をお願いしたところ、大会に先立ち社員(幹部研修生を含む)四十名がふれあい広場から仏坂までの市道・県道のコース沿道の清掃活動を実施していただきました。

賑わう千枚田

新東名開通に伴い全国ナンバーの観光客が押し寄せている。

棚田の百姓は農業の生産の場、先祖の遺産と位置付け保全に邁進しているが、いつの間にか茶臼山の芝桜と四谷の千枚田が愛知県の大観光地としてクローズアップされてしまっている。

ゴールデンウィークの最中、ドドッと山鳴りがし、ハーレーダビッドソンが群れてきた。見ると湘南ナンバーだ。湘南といえは石原慎太郎や裕ちゃんが悪サのしたい放題(一時代を築いた)の印象が強い。その湘



南からこんな山奥に癒しや新緑を求めやって来る。時代も変われば変わるものだ。

日頃、現金収入を求め、一生懸命に働いている都市部の人達の癒しの場として地元住民は「来るものは拒まない」が駐車場の不足には見るに見かねる。行政も唱ばかり唄っているが、こうした難儀にも少しは配慮して頂ければ有難いものだ。

保存会総会

五月七日、連日、田植え作業で疲労困憊のなか、定時総会が開かれた。会長は、新東名開通の余波で賑わいが倍加したなか、棚田保全の労いの言葉と、サミット開催十周年記念シンポジウムの開催、パワートレイル協力への感謝の辞があった。上程した議案はすべてシヤンシヤン、無事、総会は散会した。

新役員 会長 小山舜二 副会長 高橋孝行 理事 高橋伸治 今泉雅男 小山孝夫 村雲伸一 原田英史 顧問 高橋庄一 小山泰広 会計 松下誠 会員 丸山一虎 梶村兼夫 金古浩一 夏目宏一 古田和男 今泉徹 稲熊良隆 稲熊富平 小山傳次郎 小山秀夫 原田武典 原田 勇 丸地光世 河西忍

サミット参加

第二十二回全国棚田サミットが平成二十八年七月十四日〜十五日

に新潟県佐渡市で開催される。保存会からは今泉雅男、村雲伸一、松下誠、高橋孝行、小山舜二保存会意見交換会の五名が参加する。



長篠合戦のぼりまつり

天正三年武田勝頼が率いる一万数千の武田軍と総勢五万人を超える織田・徳川連合軍が、長篠の戦いを繰り広げ、武田軍が攻め寄せた時、長篠城主奥平貞昌は手勢わずかの

兵で攻撃に耐え、お堀のタニシで餓えを凌ぎ、城を守ったと云う。

毎年、五月五日に開催されるのぼりまつりは今年で五十一回目となり、最初から村雲恒夫氏が、現在は(舜)が引き継いで千枚田のタニシを奉納している。

TV放送

・五月二十二日、愛知県広報番組「S KE48のあいちテル」 東海テレビ 十七時二十五分〜十七時三十分

・五月二十六日、「ひるめし旅」テレビ東京 十一時五十分〜十二時五十五分

近況

- ・四月二十一日、鈴木まさと県議五十名視察
- ・五月七日、こども農学校田植え
- ・五月十二日、豊橋調理製菓専門学校田植え
- ・五月十三日、鳳来寺小学校代掻き
- ・十四日、新城高校農業クラブ田植え
- ・五月十七日、鳳来寺小学校田植え
- ・六月五日、鳳来寺山自然科学博物館「春の生きものを探そう」
- ・六月九日、緑ネット視察(安城市)

行 平成二十八年五月二十日

鞍掛山麓千枚田保存会
発 文 責 小山舜二